

関 連 資 料

(ICT の活用に関連する報告書・事例集等)

1. ICT 活用について	1
2. 情報モラルについて	4
3. 著作権について	5
4. 発達障害のある子供たちのためのICT活用について	6
5. 障害のある児童生徒の学習上の支援機器等教材について	7
6. 教師の ICT 活用指導力について	8
7. 健康への留意について	9
8. ICT 環境整備について	10
9. 教育情報セキュリティについて	13
10. 教育の情報化に関する手引	14
11. 各教科等の指導における ICT の効果的な活用	15

1. ICT活用について

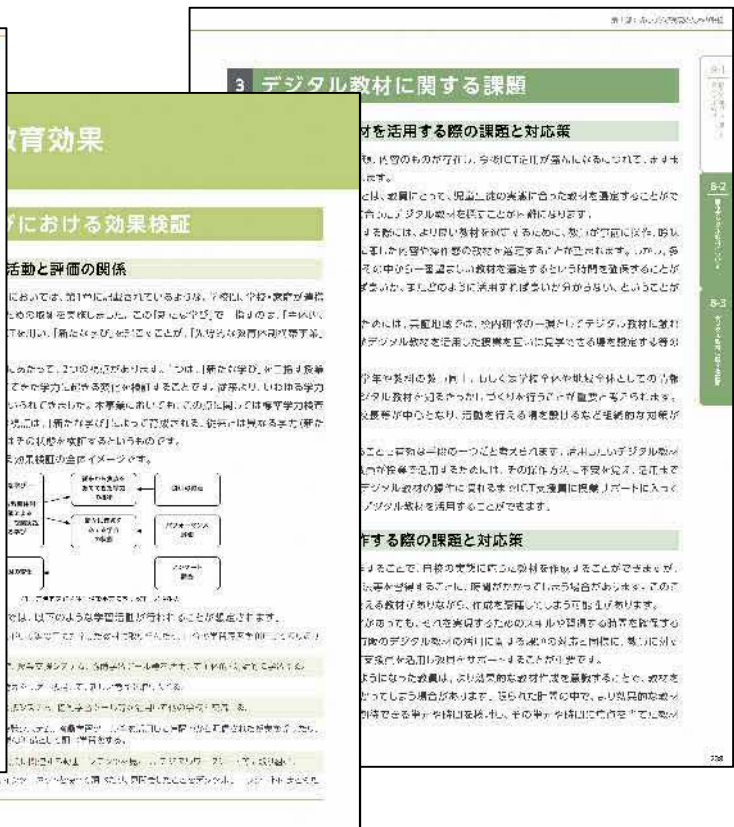
○ 先導的な教育体制構築事業報告書（平成28年度）



【目次】

- 第1部 新たな学び実現のための取組
 - 第1章 教育の情報化による新たな学びの実現
 - 第2章 本事業における新たな学びを取り巻く状況
 - 第3章 新たな学びの実践
 - 第4章 学校と家庭との連携
 - 第5章 学校間や地域との連携
 - 第6章 支援体制
 - 第7章 教育効果
 - 第8章 デジタル教材の開発・活用
- 第2部 新たな学びの実践事例

【ページ例】



1. ICT活用について

○ 学びのイノベーション事業実証研究報告書（平成25年度）



【目次例】（実証研究報告書より）

- 第1章 教育の情報化と新たな学びの創造
- 第2章 小学校、中学校における取組
- 第3章 特別支援学校における取組
- 第4章 ICTを活用した指導方法の開発
- 第5章 学習用デジタル教科書・教材の開発
- 第6章 ICTを活用した教育の効果
- 第7章 ICT活用の留意事項
- 第8章 今後の推進方策

【ページ例】



1. ICT活用について

- 教育ICT活用事例集（平成23年度）（小・中・高等学校、特別支援）
- 教育ICT活用事例集（平成24年度）（小・中・高等学校、特別支援）



【目次例】（平成24年度版より）

- ・ 「国内のICT教育活用好事例の収集・普及・促進に関する調査研究事業」「教育のICT活用実践事例集」について
- ・ 実践事例の特徴・傾向分析
- ・ ICT教育活用事例映像集 紹介
- ・ 教育ICT活用実践事例 凡例
- ・ 地方公共団体（教育委員会等）の事例

【ページ例】



2. 情報モラルについて

- 情報化社会の新たな問題を考えるための教材～安全なインターネットの使い方を考える～指導の手引き（平成28年2月）
- 情報モラル実践事例集 2015（平成27年6月）（教育委員会、学校、地域向け資料）

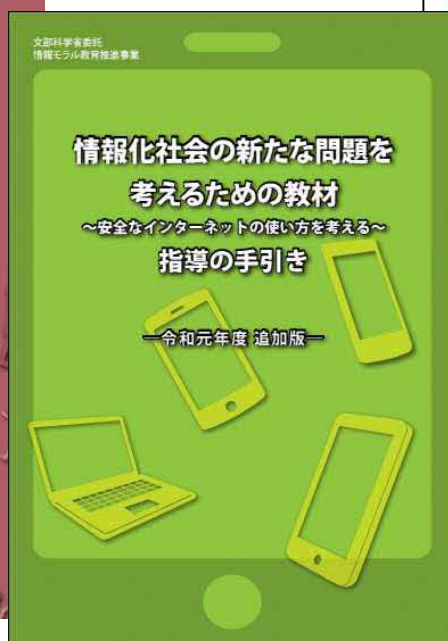


【目次例】（指導の手引きより）

1. 児童生徒を取り巻くICTの現状
2. 情報モラル教育の必要性
3. 教材と情報モラル指導モデルカリキュラムや教科等との関連
情報モラル指導モデルカリキュラム
4. 情報モラル教育の進め方
5. 情報モラル指導モデル教材
6. 教材の概要/シナリオ・スライド
7. 保護者への啓発
8. レファレンス
関連図書・関連サイト
9. 作成委員

【指導の手引き】

平成30年度一部改訂版、令和元年度追加版 作成



【参考】情報モラル指導モデルカリキュラム

（大目次・中目次レベル）

学期	1学期（1～2年）	2学期（3～4年）	3学期（5～6年）
1. 情報モラルの基礎	インターネットの仕組みや安全な利用の仕方について学ぶ。インターネットの危険性や迷惑な利用について学ぶ。	インターネットの仕組みや安全な利用の仕方について学ぶ。インターネットの危険性や迷惑な利用について学ぶ。	インターネットの仕組みや安全な利用の仕方について学ぶ。インターネットの危険性や迷惑な利用について学ぶ。
2. 情報の取扱い	インターネット上で収集した情報の取扱いについて学ぶ。著作権や肖像権について学ぶ。	インターネット上で収集した情報の取扱いについて学ぶ。著作権や肖像権について学ぶ。	インターネット上で収集した情報の取扱いについて学ぶ。著作権や肖像権について学ぶ。
3. 情報の発信	インターネット上で発信する情報の取扱いについて学ぶ。誹謗中傷やプライバシー侵害について学ぶ。	インターネット上で発信する情報の取扱いについて学ぶ。誹謗中傷やプライバシー侵害について学ぶ。	インターネット上で発信する情報の取扱いについて学ぶ。誹謗中傷やプライバシー侵害について学ぶ。
4. 情報の活用	インターネット上で収集した情報の活用について学ぶ。情報の信頼性や正確性について学ぶ。	インターネット上で収集した情報の活用について学ぶ。情報の信頼性や正確性について学ぶ。	インターネット上で収集した情報の活用について学ぶ。情報の信頼性や正確性について学ぶ。
5. 情報モラルの推進	インターネット上で収集した情報の活用について学ぶ。情報の信頼性や正確性について学ぶ。	インターネット上で収集した情報の活用について学ぶ。情報の信頼性や正確性について学ぶ。	インターネット上で収集した情報の活用について学ぶ。情報の信頼性や正確性について学ぶ。

参照URL：

（情報モラル実践事例集）

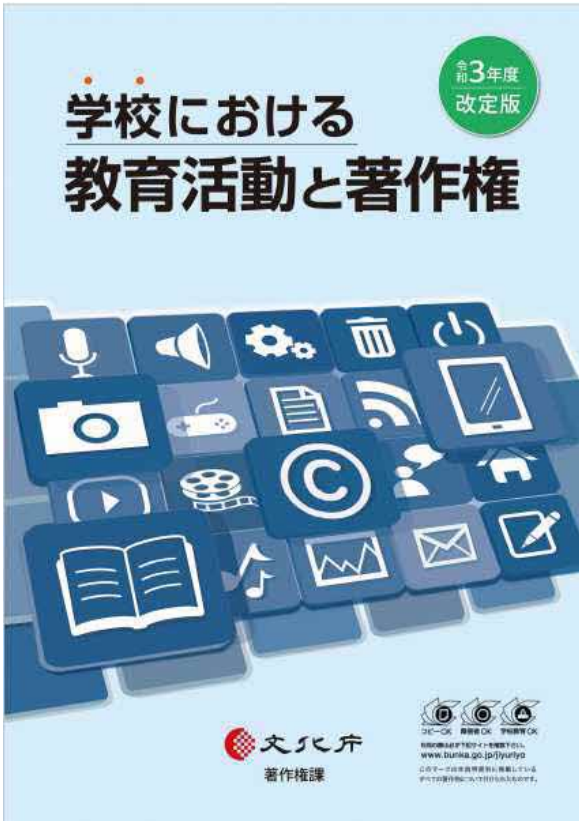
http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2018/08/13/1408132_00_0_full.pdf

（情報化社会の新たな問題を考えるための教材）

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/1368445.htm

3. 著作権について

- 学校における教育活動と著作権
※令和3年4月中に更新予定。



【内容例】

- ・ 教員や児童・生徒が授業の教材として使うために他人の作品をコピーし配布する場合やメール送信等インターネット送信をする場合
- ・ 「主会場」で行われている授業で教材として使われた他人の作品等を遠隔地にある「副会場」に向け、同時中継する場合
- ・ 学習者用デジタル教科書に掲載された他人の作品についてその教科書を学校現場における使用に伴ってインターネット送信する等の方法により利用する場合
- ・ 試験又は検定のため、他人の作品を使って入学試験問題を作成し配布する場合又は当該試験問題をインターネットなどで送信する場合
- ・ 発表用資料やレポートの中で他人の作品を「引用」して利用する場合
- ・ 学芸会、文化祭、部活動などで他人の作品を上演・演奏・上演・口述（朗読等）する場合

【ページ例】

教員及び児童・生徒が、授業の教材として使うために他人の作品をコピーして配布したりEメールなどインターネットを介して送信したりする場合 (第30条第1項)

著作権者の了解なしに利用できるための条件

① 著作を目的としない複製であること
② 複製を目的とする複製や複製を目的とする複製を複製して配布する行為を伴わないこと
③ 複製を目的とする複製や複製を目的とする複製を複製して配布する行為を伴わないこと
④ 複製を目的とする複製や複製を目的とする複製を複製して配布する行為を伴わないこと
⑤ 複製を目的とする複製や複製を目的とする複製を複製して配布する行為を伴わないこと

著作権者の了解なしに利用できるための条件

① 複製を目的としない複製であること
② 複製を目的とする複製や複製を目的とする複製を複製して配布する行為を伴わないこと
③ 複製を目的とする複製や複製を目的とする複製を複製して配布する行為を伴わないこと
④ 複製を目的とする複製や複製を目的とする複製を複製して配布する行為を伴わないこと
⑤ 複製を目的とする複製や複製を目的とする複製を複製して配布する行為を伴わないこと

「主会場」で行われている授業で教材として使われた他人の作品等を遠隔地にある「副会場」に向け、同時中継する場合 (第30条第2項)

複製を目的としない複製であること

① 複製を目的としない複製であること
② 複製を目的とする複製や複製を目的とする複製を複製して配布する行為を伴わないこと
③ 複製を目的とする複製や複製を目的とする複製を複製して配布する行為を伴わないこと
④ 複製を目的とする複製や複製を目的とする複製を複製して配布する行為を伴わないこと
⑤ 複製を目的とする複製や複製を目的とする複製を複製して配布する行為を伴わないこと

学習者用デジタル教科書を学校現場での使用に伴ってインターネットを介した送信等を行う場合 (学習者用デジタル教科書掲載権金制度) (第33条の2第1項)

著作権者の了解なしに利用できるための条件

① 複製を目的としない複製であること
② 複製を目的とする複製や複製を目的とする複製を複製して配布する行為を伴わないこと
③ 複製を目的とする複製や複製を目的とする複製を複製して配布する行為を伴わないこと
④ 複製を目的とする複製や複製を目的とする複製を複製して配布する行為を伴わないこと
⑤ 複製を目的とする複製や複製を目的とする複製を複製して配布する行為を伴わないこと

著作権者の了解なしに利用できるための条件

① 複製を目的としない複製であること
② 複製を目的とする複製や複製を目的とする複製を複製して配布する行為を伴わないこと
③ 複製を目的とする複製や複製を目的とする複製を複製して配布する行為を伴わないこと
④ 複製を目的とする複製や複製を目的とする複製を複製して配布する行為を伴わないこと
⑤ 複製を目的とする複製や複製を目的とする複製を複製して配布する行為を伴わないこと

4. 発達障害のある子供たちのためのICT活用について

- 発達障害のある子供たちのためのICT活用ハンドブック（特別支援学級編）
- 発達障害のある子供たちのためのICT活用ハンドブック（通級指導教室編）
- 発達障害のある子供たちのためのICT活用ハンドブック（通常の学級編）



【目次例】（特別支援学級編より）

- 第1章 はじめに～発達障害とICTについて～
- 第2章 教員が抱える悩みを解決しよう～特別支援学級におけるICT活用事例～
- 第3章 教員がICTを効率的に学ぶために～ICTの効率的な研修方法について～

【ページ例】

The collage displays various pages from the handbook, including:

- A concept diagram titled "ICT活用ハンドブック ～特別支援学級編～ のコンセプト".
- A table of contents for the "実践事例" (Practical Examples) section, listing items like "1-3 作文を書くことの困難さに対する支援" (Support for difficulties in writing essays).
- Page 1.4 titled "1.4 集団と個への配慮：学級運営上の留意点" (Consideration for Group and Individual: Points for Classroom Management), which includes sub-sections for "学級のICT活用" (ICT Use in the Classroom) and "子供たち一人一人の配慮" (Consideration for Each Child).
- Page 3.1 titled "3.1 通常の学級へのICT機器の導入" (Introduction of ICT Equipment to General Classrooms), which includes a sub-section for "教室内でのICT環境づくり" (Creating an ICT Environment in the Classroom) and a diagram showing a classroom layout with ICT equipment.

5. 障害のある児童生徒の学習上の支援機器等教材について

- これが欲しかった！ICT機器の「次の」活用方法
(学習上の支援機器等教材活用促進事業 (平成30年度版))



【内容】

1. 特別支援教育における「適切な教材」の提供
2. 学習上の支援機器等教材活用研究開発支援事業
 <東京大学先端科学技術研究センター>
 タッチ&リード/OAK Cam
 <シナノケンシ株式会社>
 いーリーダー ほか
3. 指導方法充実事業
4. 普及促進事業～支援機器等教材を探そう～

【ページ例】

6. 教師のICT活用指導力について

○ 校内研修リーダー養成のための研修手引き（平成26年度）



【目次】

はじめに～本研修の手引きについて～

I 章 モデルカリキュラムの活用にあたって

- 1 節 モデルカリキュラムの内容と特色
- 2 節 地域の実状に応じた研修カリキュラムの作成
- 3 節 外部との連携による効果的な研修カリキュラムの実施

II 章 研修カリキュラムの効果的な実施のために

- 1 節 研修期間による「校内研修リーダー」養成研修の企画・実施にあたって
- 2 節 「校内研修リーダー」が効果的な校内研修を実施できるようにするために
おわりに

【ページ例】

The image displays several pages from the handbook. On the left, a flowchart titled 'ICT活用推進の状況' (Status of ICT Utilization Promotion) shows a progression from 'ICT活用推進の状況' to 'ICT活用推進の状況' over two years. Below this, there is a section titled 'ICT活用推進の状況' with a table of indicators. In the center, there is a 'Reference Materials' section with a table titled '「校内研修リーダー」養成研修アンケート様式例' (Example of In-school Training Leader Training Questionnaire Format). The table lists various items and their frequencies.

項目	回数	頻度	割合	備考
ICT活用推進の状況	1	1	100%	
ICT活用推進の状況	2	2	100%	
ICT活用推進の状況	3	3	100%	
ICT活用推進の状況	4	4	100%	
ICT活用推進の状況	5	5	100%	

7. 健康への留意について

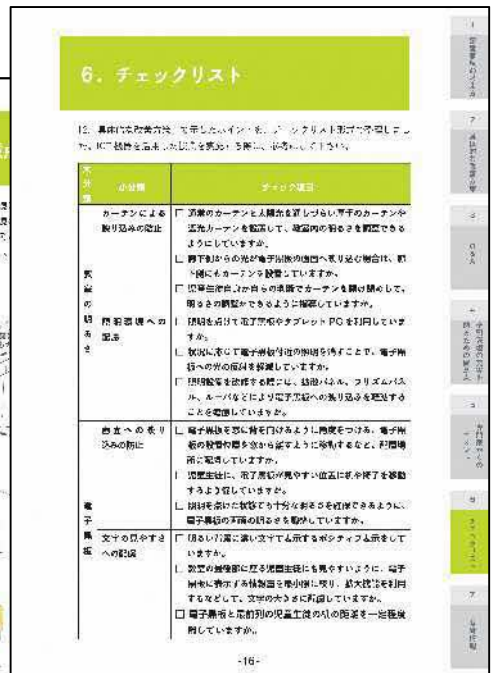
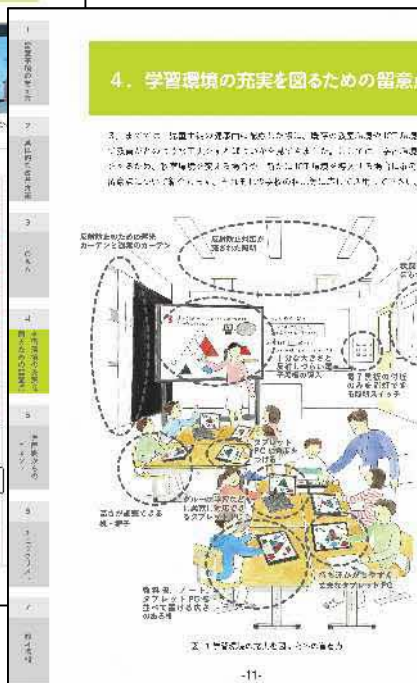
○ 児童生徒の健康に留意してICTを活用するためのガイドブック



【目次】

1. 留意事項の考え方
2. 具体的な改善方策
 - 2.1 教室の明るさ
 - 2.2 電子黒板
 - 2.3 タブレットPC
3. Q & A
4. 学習環境の充実を図るための留意点
5. 専門家からのコメント
6. チェックリスト
7. 参考情報

【ページ例】



8. ICT環境整備について

- 地方自治体のためのICT環境整備推進の手引き（平成30年度）
- 地方自治体のための学校のICT環境整備推進の手引き（平成29年度）
- 地方自治体のための学校のICT環境整備推進の手引き（平成28年度）
- 地方自治体の教育の情報化推進事例（平成27年度）



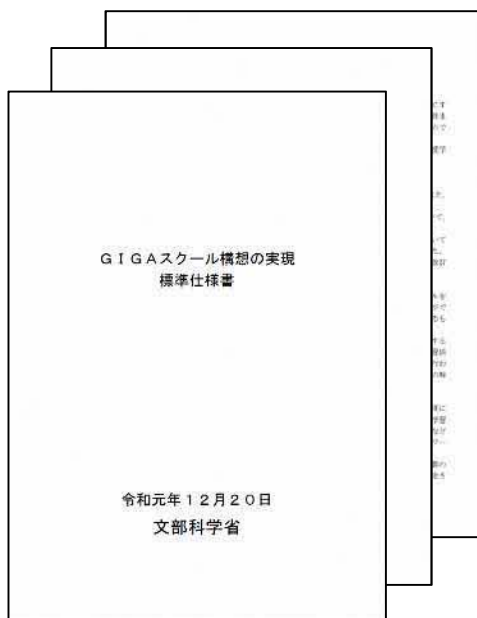
【目次例】（平成30年度より）

- 序章 教育の情報化とは
- 第1章 教育の情報化推進のプロセスと進め方
- 第2章 学校ICT環境の整備と運用（実践編）
- 第3章 地方自治体のICT環境整備取組事例
- 付録

【ページ例】

8. ICT環境整備について

- 平成30年度以降の学校におけるICT環境の整備方針について（平成29年度）
- GIGAスクール構想の実現 標準仕様書（令和元年度）
- GIGAスクール構想の実現 標準仕様書 学校からのインターネット接続編（令和2年度）

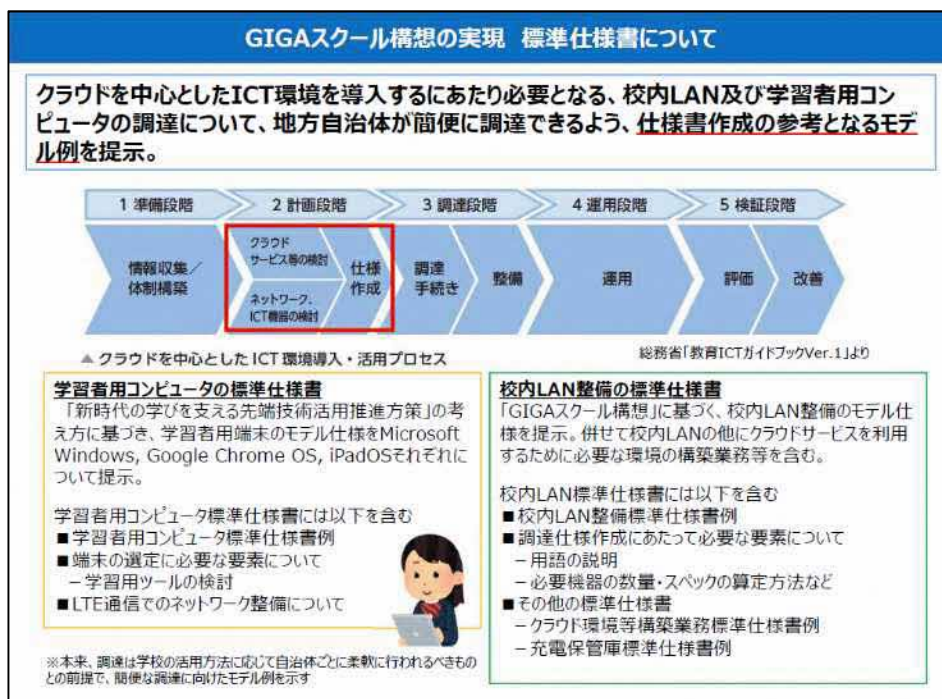


【目次例】（標準仕様書より）

はじめに

1. 学習者用コンピュータの標準仕様書
 - (1) 学習者用コンピュータの標準仕様書について
 - (2) 学習者用コンピュータ等機器賃貸借標準仕様書例
 - (3) 「学習用ツール」について
 - (4) LTE 通信でのネットワーク整備について
2. 校内 LAN 整備の標準仕様書
 - (1) 校内 LAN 整備の標準仕様書について
 - (2) 校内 LAN 整備 調達 仕様書の作成方法
 - (3) 校内 LAN 構築業務標準仕様書例
 - (4) 校内 LAN 構成例
 - (5) その他の標準仕様書
 - ①クラウド環境等構築業務標準仕様書例
 - ②充電保管庫標準仕様書例

【概要】



参照URL：

（整備方針）https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/1399902.htm

（標準仕様書）https://www.mext.go.jp/content/20200219-mxt_jogai02-000003278_407.pdf

（標準仕様書 学校からのインターネット接続編）https://www.mext.go.jp/content/20210119-mxt_jogai02-000011648_001.pdf

8. ICT環境整備について

○ 教育クラウド調達ガイドブック（本編、参考編）（令和2年3月）



【目次例】（本編より）

- はじめに
- 教育分野におけるクラウド活用とは本書の使い方
- 第1章 教育クラウド調達に向けて
- 第2章 授業・学習系システムにおけるクラウド活用
- 第3章 校務系システムにおけるクラウド活用

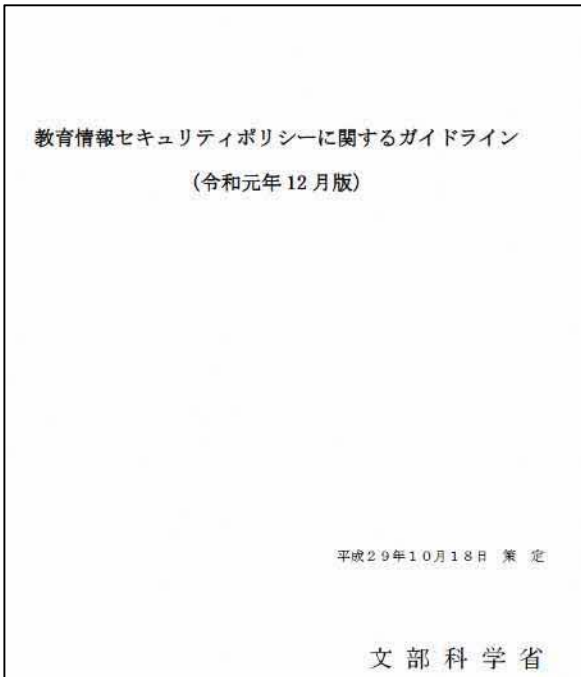
【ページ例】

The collage displays several pages from the guidebook. On the left, a page titled '教育分野におけるクラウド活用' discusses the benefits of cloud adoption in education. In the center, a page titled '第2章 授業・学習系システムクラウド活用' includes a diagram showing the flow of data between 'オンラインプラットフォーム上のコンテンツ活用' and '学習管理システム'. On the right, a page titled '第3章 校務系システムにおけるクラウド活用' features a detailed diagram of '校務系システム' (Administrative System) showing the integration of various systems like '教育情報システム' and '人事システム'.

参照URL：
（本編） https://www.soumu.go.jp/main_content/000700786.pdf
（参考編） https://www.soumu.go.jp/main_content/000700963.pdf

9. 教育情報セキュリティについて

○ 「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」 (令和元年12月)



【目次】

- 第1章 本ガイドラインの目的
- 第2章 本ガイドライン制定の経緯・背景
- 第3章 地方公共団体における教育情報セキュリティの考え方
- 第4章 教育情報セキュリティポリシーの構成と学校を対象とした「対策基準」の必要性
- 第5章 教育現場におけるクラウドの活用について

『参考資料』

【ページ例】

【例文】

(1) 利用者認証

① クラウド利用者は、クラウド事業者における当該クラウドサービスを提供する情報システムの運用もしくは開発に従事する者又は管理者権限を有する者について、適切な利用者確認がなされていることをクラウド事業者に求め、サービス提供定款や契約上で確認または合意サービス提供定款や契約書で確認または合意しなければならない。

② クラウド利用者は、当該クラウドサービスのログインに認証機能の提供をクラウド事業者に求め、サービス提供契約書面上で確認または合意しなければならない。

③ クラウド利用者側管理者権限を有する者のIDについて、1.6.2 例文(1)③を遵守しなければならない。

(2) アクセス制御

① クラウド利用者は、当該クラウドサービスにアクセスする権限のない者がアクセスできない、システム上制限する機能の提供をクラウド事業者に求め、サービス提供定款や契約書面上で確認または合意しなければならない。

② クラウド利用者は、クラウド事業者の提供するアクセス制御機能を用いて、情報資産毎に、許可されたエンドユーザのみがアクセスできる環境を設定しなければならない。

(3) クラウドに保管するデータの暗号化

クラウド利用者は、当該クラウドサービスへのアクセスに際し、情報漏えい等に備えて、暗号化等の措置を講じられていることを、クラウド事業者にサービス提供定款や契約書面上で確認または合意しなければならない。

(図表：学校におけるネットワーク等の構成のイメージ)

以下の図表は、ネットワーク等の構成のイメージであり、画一的な方策を示しているものではない。教育委員会・学校においては、自らが実現したい環境、コスト等を踏まえながらネットワーク構成を検討すること。

<データセンター等を利用し、ネットワーク分離を基本としたリスク対応のイメージ>

※ データセンターやインターネットへの接続形態としては、「センター集約型」、「学校個別接続型」が想定される。

※ 上記図表は、データセンターやインターネットへの接続は「センター集約型」で行い、ネットワークを論理分離している場合のイメージである。

項目	実施	実施	実施	実施
1. 教育情報セキュリティポリシーの策定	実施	実施	実施	実施
2. 教育情報セキュリティポリシーの実施	実施	実施	実施	実施
3. 教育情報セキュリティポリシーの検証	実施	実施	実施	実施
4. 教育情報セキュリティポリシーの改善	実施	実施	実施	実施

図の分類を越えて複数のイメージを参照すること。以下の図表も読み合わせ、各項目と対策セキュリティのバランスを考慮し、柔軟に対応することが必要である。

行う場合には、「1.10 事業者に対して確認すべきプライバシーに関する事項」

・学年等の属性情報、生活歴、心身の状況、電話番号等といった情報と連携

10. 教育の情報化に関する手引

○ 教育の情報化に関する手引（追補版）（令和2年6月）

教育の情報化に関する手引

（追補版）

令和2年6月



【目次】

第1章 社会的背景の変化と教育の情報化

第2章 情報活用能力の育成

第3章 プログラミング教育の推進

第4章 教科等の指導におけるICTの活用

第5章 校務の情報化の推進

第6章 教師に求められるICT活用指導力等の向上

第7章 学校におけるICT環境整備

第8章 学校及びその設置者等における教育の情報化に関する推進体制

【概要】

教育の情報化に関する手引（追補版）の概要

作成趣旨

新学習指導要領においては、初めて「情報活用能力」を学習の基礎となる資質・能力と位置付け、教科等横断的にその育成を図るとともに、その育成のために必要なICT環境を整え、それらを適切に活用した学習活動の充実を図ることとしており、**情報教育や教科等の指導におけるICT活用など、教育の情報化に関わる内容の一層の充実が図られた。**

新学習指導要領の下で**教育の情報化が一層進展するよう、学校・教育委員会が実際に取組を行う際**に参考となる「手引」を作成。

- ✓ 新学習指導要領のほか、現時点の国の政策方針・提言、通知、各調査研究の成果、各種手引、指導資料等に基づき作成
- ✓ 現行の手引の内容を全面的に改訂・充実するとともに、「プログラミング教育」「デジタル教科書」「遠隔教育」「先端技術」「健康への配慮」などの新規事項も追加
- ✓ 各学校教育・教科等におけるICTを活用した指導の具体例を掲載

第1章 社会的背景の変化と教育の情報化

第2章 情報活用能力の育成

- これまでの情報活用能力の育成
- 学習の基礎となる資質・能力としての情報活用能力
- 情報活用能力の育成のためのカリキュラム・マネジメント
- 学校における情報モラル教育

第3章 プログラミング教育の推進

- プログラミング教育の必要性及びその位置
- 小学校段階におけるプログラミング教育

第4章 教科等の指導におけるICTの活用

- 教科等の指導におけるICT活用の意義とその留意点
- ICTを効果的に活用した学習指導の目標例と留意事項等
- 各教科等におけるICTを活用した教育の活用
- 特別支援教育におけるICTの活用

第5章 校務の情報化の推進

- 校務の情報化の目的
- 統合型デジタルシステムの導入
- 校務の情報化の進め方
- 特別支援教育における校務の情報化

第6章 教師に求められるICT活用指導力等の向上

- 教師に求められるICT活用指導力等
- 教師の研修
- 教師の養成・採用等

第7章 学校におけるICT環境整備

- ICT環境整備の在り方
- デジタル教科書やデジタル教材
- 遠隔教育の推進
- 先住民等の導入
- ICT活用における健康への配慮
- 教育情報セキュリティ

特別支援教育における教育の情報化 所収量において特別支援教育関係の記述をしている。

第8章 学校及びその設置者等における教育の情報化に関する推進体制

- 教育委員会及び学校の管理職の役割
- ICT推進員をはじめとした外部人材など、外部資源の活用

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/mext_00117.html

11. 各教科等の指導におけるICTの効果的な活用

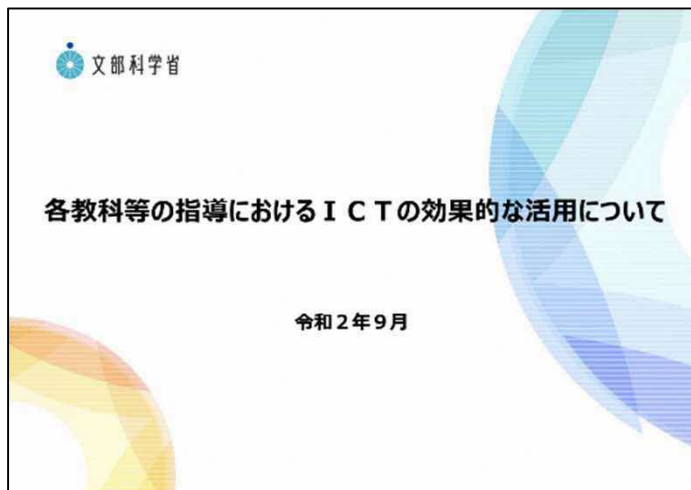
○ 各教科等の指導におけるICTの効果的な活用に関する参考資料（令和2年9月）

【目次】

・概要

（各教科等の指導における1人1台端末の活用）

- ・国語
- ・社会、地理歴史、公民
- ・算数、数学
- ・理科
- ・音楽、図画工作、美術、工芸、書道
- ・体育、保健体育
- ・家庭、技術・家庭
- ・外国語
- ・情報
- ・特別の教科 道徳
- ・生活科、総合的な学習（探究）の時間
- ・特別活動
- ・特別支援教育



【ページ例】

特別活動における1人1台端末の活用

特別活動の指導に当たっては、その方法原理である「なすこと」によって学びの直接体験が基本であるが、指導内容に応じて、適宜コンピュータや情報通信ネットワークなどを適切に活用し、児童生徒の学習の場を広げたり、学習の質を高めたりすることができる。

特別活動の特質「集団活動、実践的な活動」の代替としてはなく、特別活動の学習の一環の充実に資するための有用な道具としてICTを位置づけ、活用する場面を適切に選択し、教師の丁寧な指導の下で効果的に活用することが重要。

学級活動・ホームルーム活動における活用例

集団や自己の生活上の課題を解決するために学習者用端末を活用して

- 生活場面を撮影したり、サイトにアクセスしたりして、必要な情報を収集し、学校生活や社会の問題を見いだす。
- 個人の意見を表明し合うとともに意見を比べ合い整理する。
- 解決方法を議題として合意形成、個人として意思決定する。
- 実践を撮影及び編集し、他者と共有したり、互いの記録を統合して次の課題解決につなぐ。

全員の意見が（学等に）表明できようか。

問題の発見・整理 → 解決方法等の話し合い → 意見の出し合い、比べ合い

生活の場や課題の把握 → 記録の撮影・サイト閲覧 → 意見の出し合い、比べ合い

次の課題解決へ → 振り返り → 決めたことの実践

振り返りから意見出し → 生活の場や課題の把握 → 課題解決の改善

社会、地理歴史、公民における1人1台端末の活用

社会的現象に関する様々な情報を収集し、読み取り、まとめるための学習活動において、ICTを効果的に活用する場面を想定し実践していくことが重要。

小学校社会における活用例

情報を集める
- 写真や動画機能を用いて記録することで効果的に情報収集を行うことができ、見えない情報を可視化できる。
- 様々な情報をより多く効果的に集めることができる。

収集した情報を整理し読み取り考える
- 絞り直し、再生し、拡大し、共有し、共有できる。
- 児童一人一人が調べた情報を整理し、それらの情報を集約し共有し、地域の情報を整理し共有して関係性を見出すことで情報をより深く考えられるようになる。また、作業しやすくなる情報も活用可能。

考えた情報を話し合ってみよう
- 自分なりに考え分析した情報を他者と共有し、他の児童の考えを参考にし、より深く考えることができる。
- 動画や音声データを共有して、自分の考えを伝えるスライド資料を作成することができる。

一人一人が調べた情報を共有し、それらの情報を集約し共有し、地域の情報を整理し共有して関係性を見出すことで情報をより深く考えられるようになる。また、作業しやすくなる情報も活用可能。

中学校社会・高等学校地理歴史・公民における活用例

生徒個々の探求意欲に基づき、感行錯誤しながら多面的・多角的により深く考察する

- 生徒一人一人が課題を自分自身の解決に向けて、必要な情報を収集し、主体的に探究することができる。
- 情報のデジタル化・地図化・複数データ比較・統合等が容易にできることから、データについての分析・検証が行いやすくなる。
- データを加工し、多様な表現や多様な発信手法をとることができる。

学習者用端末 → 情報収集の中心になる → 情報の整理と共有 → 情報の活用

＜情報の可視化＞
- 複数のデータを比較して分析

＜情報の活用＞
- 複数の情報を活用して新たな価値を生み出す

ICT活用による

学習方法の工夫・改善
学習者の学び合いの促進

知識及び技能の習得

【心算算活の実践】
- 手動と自動で内算
- 個別に自分の取組動画を撮影
- 終止点を意識して、内算実施

思考力、判断力、問題解決能力

【次のゲームに向けて】
- 各員の動き、ゲームの場面を撮影
- 各員の動き、ゲームの場面を撮影
- 各自が撮影した動画を共有し、ゲームの場面を撮影

1人1台端末を効果的に活用することで…

- 苦手だった運動ができるようになり、運動が好きになる。
- 運動することへの意欲が高まり、積極的に運動するようになる。
- 自己の健康課題に主体的に取り組むようになる。